

96 マアナゴの年齢・成長について

福島県水産試験場相馬支場・平成12年度福島県水産試験場事業報告書

- 1 部門名 水産業－資源管理－その他魚種（海） 19-04-57000000
- 2 担当者 石田敏則
- 3 要 旨

本県の沿岸漁業における重要な漁獲対象資源のひとつであるマアナゴについて、資源管理のために必要な生物学的パラメータのひとつである成長に関して検討した。

(1) 仔魚の成長

福島県の沿岸に来遊する仔魚について、耳石を用いて日齢解析を実施した結果、4月時点での平均日齢は125.5日であった。

(2) 成魚の成長

耳石を、200℃にて7～8分加熱後、樹脂包埋し、硬組織切断機により切片とし、蛍光顕微鏡にて観察し、年齢を推定した。

ア 年齢と成長（1月1日を起算日とする）

夏秋季に、約1.5歳（全長30～45cm）で漁獲対象資源へ加入する。満2歳で全長40～55cm、満3歳で40～70cm、満4歳で50～80cm程度に成長する。

イ 漁獲物の年齢構成

漁獲物は主として1歳から4歳のもので構成されており、5歳以上の個体は少ない。

4 主な参考文献・資料

平成12年日本水産学会秋季大会要旨集 P169～180

第4回アナゴ漁業資源研究会講演要旨集